【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【公開番号】特開2007-244858(P2007-244858A)
【公開日】平成19年9月27日(2007.9.27)
【年通号数】公開・登録公報2007-037
【出願番号】特願2007-37801(P2007-37801)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　1/36　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　5/165　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　1/36　５４３
Ａ６１Ｍ　1/02　５４０
Ａ６１Ｍ　5/16　３３４Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月16日(2010.2.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
採血された血液または血液成分の濾過方法であって、
前記濾過方法に用いる白血球除去フィルターは、
入口と出口を有する扁平状可撓性容器と
該容器内を入口側室と出口側室とに隔てるように配置した総厚みが８．２ｍｍ～８．６ｍｍのシート状の白血球除去フィルター材を有し、
厚さが９．０ｍｍ～９．４ｍｍ、通気圧損が３００Ｐａ～７００Ｐａ、有効濾過面積が５０ｃｍ2～７０ｃｍ^{2}であって、
体積拘束板を、前記白血球除去フィルターの前記可撓性容器の入口側外面および出口側外面の外側に配置し、
前記白血球除去フィルターを挟み込んでいる部分における向かい合う体積拘束板の間隔が［前記白血球除去フィルターの厚み＋０．５ｍｍ］～［前記白血球除去フィルターの厚み＋２．５ｍｍ］であって、
３０ｋＰａ～５０ｋＰａの圧力で前記血液または血液成分を前記白血球除去フィルターで濾過し、
該濾過の間に発生する前記可撓性容器の膨らみを前記体積拘束板によって拘束する、
ことからなる、血液または血液成分の濾過方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項７】
血液または血液成分の濾過装置であって、
（ａ）入口と出口を有する扁平状可撓性容器と
該容器内を入口側室と出口側室とに隔てるように配置した総厚みが８．２ｍｍ～８．６ｍ

ｍのシート状の白血球除去フィルター材と、を含む、
厚さ９．０ｍｍ～９．４ｍｍ、通気圧損３００Ｐａ～７００Ｐａ、有効濾過面積５０ｃｍ^2～７０ｃｍ^{2}の白血球除去フィルターと
（ｂ）前記可撓性容器の入口側外面および出口側外面の外側に配置された、前記白血球除去フィルターを挟み込んでいる部分における向かい合う体積拘束板の間隔が［前記白血球除去フィルターの厚み＋０．５ｍｍ］～［前記白血球除去フィルターの厚み＋２．５ｍｍ］である体積拘束板
を含む、血液または血液成分の濾過装置。